

香春町協力隊だより



協力隊のミッション

香春町における人口減少と空き家の増加。私たち3人の協力隊は、この問題に立ち向かうため、都市部の若者たちに香春町のよさを伝え、空き家に移住してもらう仕組みづくりに挑戦しています。

また、着任してからの3ヶ月間、地元の住民の皆さんと交流し関係を深めようと行動してきました。今では町の生活にも慣れ、順調に香春町での移住生活を楽しんでいきます。

私たちの活動を少しでも多くの町民の皆さんに知っていただくために、毎月新聞を発行していきますので、是非お読みください。



▲左から濱田隊員、村井隊員、手島隊員。

村井勇輝

ムライユウキ (大阪府出身)
移住と交流の場づくり担当



▲採銅所の松尾さん(右)の指導のもと竹照明を作成する村井隊員(左)。

採銅所駅舎内に協力隊が常駐する拠点をつくり、移住相談窓口や来町者と地元の住民の皆さんとの交流の場を運営していきたいと考えています。来年4月のオープンを目指して、現在準備作業を進めています。

また、採銅所矢山地区にある私の住居の1階部分を題材に「空き家活用DIYリノベーション講座」を開催します。9月から1ヶ月間かけて建築士の指導のもと、9名の参加者と一緒に「自分でできる改装作業」を学びます。

なお、完成後の1階部分は田舎暮らしを体験するお試し居住施設として活用する予定です。

手島順也

テシマジュンヤ (うきは市出身)
空き家活用担当

香春町の「空き家・空き地情報バンク制度」拡充に向け、登録物件数増を目標に活動しています。

具体的には、移住希望者への空き家のあつせん本格化に向けて、空き家バンクのホームページのリニューアル、町の住宅リフォーム補助制度の充実に動いています。

また、空き家に関するイベントも行い香春町で効果的な空き家の活用方法を模索しています。

空き家に関する情報や相談があればお気軽にご連絡ください。



▲空き家ワークショップで地元の方、NPOの方と空き家の活用方法を話し合う手島隊員(左)。



▲広報紙の表紙撮影で立ち位置などを指導する濱田隊員(右)。

濱田雄飛

ハマガタ ユウヱ (広島県出身)
移住希望者への情報発信担当

六月初旬に着任し、移住希望者に向け香春町での暮らしのイメージを情報発信しています。

発信は主にインターネットからですが、暮らしのイメージ発信には私のような、外からの視点を持つ者からの発信と同様に長くこの町に住まれている皆さんの視点からの発信も大切だと思いますのでご協力をお願いします。

撮影時はアドベンチャーハットという黒い麦わら帽子みたいな帽子を被っていますので、まちかどでカメラを持ってウロウロしている私を見つけたら、ぜひ声をかけてください。



香春町協力隊だより



先月の主な活動として、移住案内ホームページ制作の為に取材や9月19日(月・祝)に行う野草イベントの打ち合わせなどを行いました。

ホームページ制作をお願いしている福岡移住計画の方に、香春町の魅力を伝え、案内し、地元の方へのインタビューなど、取材のお手伝いを行いました。

また、採銅所地区にて、ハーブ王子こと山下智道さんを講師に招待し、野草散策&野草料理会を開催します。現在、協力隊のフェイスブックページにて、参加者の募集をしており、詳細も合わせてご覧ください。



移住と交流の場へのご挨拶

ムライ ユウキ 村井勇輝隊員 FROM KASHIWARA, OSAKA

その他、協力隊としての活動以外の部分でも、私が住む採銅所の矢山地区での草刈りや、初盆を迎えたお宅の前での盆踊りにも参加し、練習した太鼓の腕前を披露させていただきました。

ふるさと香春夏まつりにおいても、香春の盆踊りや炭坑節を教えてください、この地に受け継がれる伝統を身をもって体験させていただきました。

地域の魅力や文化をもっと理解するため、まず自分が学び、身をもって体験することができた1カ月だったと思います。



空き家活用担当

FROM UKIHA, FUKUOKA テシマ ジュンヤ 手島順也隊員

先月は町外の不動産会社が保有している物件を「空き家バンク」に登録してもらうことに力を入れました。

8月の新規空き家登録数は6件で今年度は累計15件の新規物件が登録されています。今までは年平均10件程度だったので、この流れで物件数の確保に動いていきます。

町内の空き家がどれくらいあるのか今の段階では把握できてませんが、一歩ずつ進めていきます。

また、「空き家・空き地バンク」の内容を充実した結果、町内外から物

件の問い合わせが増加しています。

元香春町に住んでいた方、香春町近郊で仕事をされている方やインターネットなどの情報により香春町を移住先に考えている方など多種多様です。香春町の空き家を紹介して成約につなげていきます。

加えて、先月は「リノベーションスクール北九州」に参加し、全国の空き家活用の事例を研究してきました。目標として、今年度中に1件の空き家を自分の手で改装していきたいと思っています。

町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



先月は、主に地元の生産者と消費者を繋ぎ、香春町の農産物の魅力や調理法などを発信していくプロジェクトの為に、イチジクを栽培されている鹿島さんなど農家の方を訪ねて回り、取材を行いました。(写真下)

また、夏まつりなどのイベントに参加し香春町の魅力や伝統行事を記録し伝えてい



うと取材しています。(写真上)

その他、合併60周年記念のPVの作成、観光パンフレット『香春散策』のリニューアル用の写真撮影、半農半X的な生活を自ら実践し主観的な目線のイメージで発信するなど香春町の魅力や暮らしのイメージをドンドン魅せていっています。



移住希望者への情報発信担当

ハマダ ヨシタカ 濱田雄飛隊員 FROM KURE, HIROSHIMA

フェイスブックでも香春町の情報や私たち協力隊の活動を毎日発信中です。「いいね」やどんな情報を発信しているか見てください。
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊 香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



香春町地域おこし協力隊が行う初めての大規模イベント！！

リノベーション DIY 講座



▲この和室が“まあなんてことでしょう”オシャレなアイランドキッチンへと変貌を遂げます。



Our Featured Tool

～協力隊が推すリノベーション講座で使う工具たち～



協力隊がこのリノベーション DIY 講座で使う工具の中でもイチオシなのが写真のトリマーです。この工具、木材の角を丸くできたりと、キッチンをよりオシャレに改修して行くのに役立つ予定です。

協力隊隊員の村井宅の1階を9月4日から10月1日までの日程でリノベーション DIY 講座を行います。村井宅1階の部屋を改修し、全く印象の違う部屋へと生まれ変わらせる「リノベーション」を行います。

プロの建築士の方を1人講師に招き、参加者は町内外より応募いただいた工事初心者の方ばかりで、全講座総勢15人程で改修作業を行います。

10月1日(土)13:00からのオープンハウス(内覧会)は、誰でも自由に見ていただけるように開放する予定です。この日は町外からも色々な方が見に来られます。香春町内の方にも是非見てもらいたいです。

また、作業日の9月17日、18日、24日、25日も時間があれば是非来てください。上記作業日以外でも、香春町地域おこし協力隊3人で準備や作業を行っている場合もあるので、見に来てもらっても大丈夫なので、覗きにきてください！

完成した部屋は、今後「お試し移住」の施設として、都会の方に2週間～1ヵ月程度の期間でこの部屋に滞在してもらい、田舎暮らしを体験してもらう場として活躍します。

【作業スケジュール】

- 9月4日(土) 13:00～15:00 「プロが教える空き家の見分け方」講座
- 17日(土) 10:00～16:00 作業1日目「キッチン作り」講座
- 18日(日) 10:00～16:00 作業2日目「床作り」講座
- 24日(土) 10:00～16:00 作業3日目「左官作業」講座
- 25日(日) 10:00～16:00 作業4日目「仕上げ編」講座
- 10月1日(土) 13:00～15:00 オープンハウス(内覧会)



香春町協力隊だより



▲ 9月19日に野草研究家の山下智道さん(小倉南区出身)を招き、町内外からの25人の参加者と共に採銅所矢山地区を散策し野草を採取、カフェコノハにて野草料理の食事をしました。野草を見つかるたびに始まる山下さんの解説に皆さん釘付けで必死にメモを取っていました。参加者の多数が女性や子どもたちで、非常に華やかな雰囲気でした。



▼ 9月の週末を中心に「DIYリノベーション講座 in 香春町」を開催いたしました。町内外より、参加者9名を集め、4日間の講座をおこない、和室の真ん中にアイランド型のキッチンを作りました。床とキッチンは、香春岳をイメージして太平洋セメントの白セメントを使用し真っ白に塗り制作しています。



空き家活用担当として物件の登録や更新、空き家バンクの取り組みについてのNHK出演、空き家の見分け方ツアーの企画・実施と忙しい日々を送りました。


NHKの「ニュースブリッジ北九州」に10分程度出演しました。空き家オーナーとのやり取りの様子などの取材を通して空き家活用の取り組みの一端を北九州・筑豊エリアの人たちに知ってもらえたと感じています。

「空き家の見分け方ツアー」ではプロの建築士と香春町の物件を回り、中古物件のどこを見ればいいのかを勉強しました。このように従来の見学の方



法だけではなく、「家の勉強」と「香春町の不動産見学」を掛け合わせることで新しい形の「移住先を選ぶ方法」を構築していきたいです。

町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、
空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



先月は協力隊の初の大規模イベントであるリノベーション講座に記録専属として講座の様子を撮影していった他、合併60周年記念PVの取材や、田川市郡の自治体広報担当者に対して広報写真の撮影の仕方についての講義を行いました。

また、東京で開かれた地域の人々を魅力的に紹介する為のワークショップにも参加しました。東日本地域の参加者が多く、当然のことながら香春町のことを知らない方が多かったです。しかし、短いPRの時間をもらい、香春岳の変貌ぶりなど印象に残るようなPRを行いました。



後の懇親会でも色々と町の現状や効果的な情報発信について他地域の協力隊員や広報担当の方と話すことができました。また、自分のスキルアップにも繋がり、今後の自分にとってとても有意義な時間を送ることができたと思います。



フェイスブックでも香春町の情報や私たち協力隊の活動を毎日発信中です。「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。タイトル左横のQRコードからもチェックできます！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408

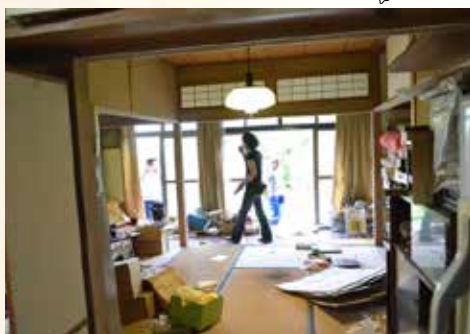


レポート！！香春町地域おこし協力隊が初めて送る大規模イベント！！

リノベーションDIY講座

遺品が多く残り、畳も手の施しようのないぐらいになってしまっていた伝統的な和室が「まあ、なんてことでしょう!？」オシャレでインパクトのあるアイランドキッチンに生まれ変わりました！

BEFORE



AFTER

▲リノベーション講座で生まれ変わったアイランドキッチン

◀遺品が残り、美しさが消えていた和室

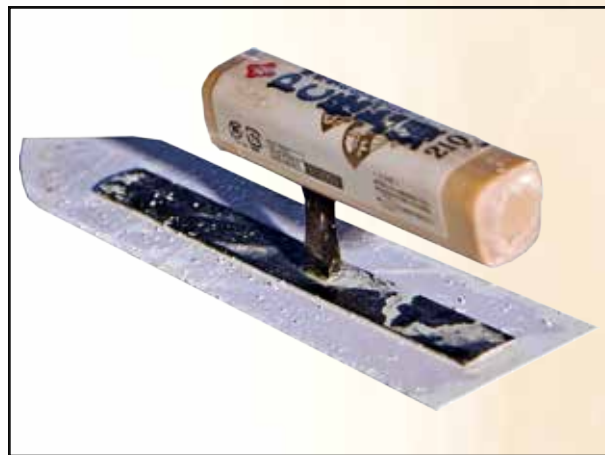
9月17日・18日・24日・25日に採銅所矢山地区にある協力隊村井宅で行ったDIYリノベーション講座は「大きなキッチン作り」「床の下地作り」「左官作業」等、日曜大工ではなかなかできない体験をプロの建築士の方にプロの技を教わりながら作業していきました。講座中は、工具の使い方指導、ノコギリやインパクトドライバ等道具の選び方、釘の正しい打ち方などの解説が始まると皆自然と建築士の方の周りに集まり、釘付けになっていました。

また、10月1日には完成披露内覧会を行い、わずか2時間の間に約80人の方が訪れ、スタッフとDIY参加者が講座中の作業の様子などを説明しながら案内していました。

11月に2組、12月に1組、この部屋で約1週間ずつ田舎暮らしの体験をしてもらうことが決まっています。居住体験参加者には多くの地元の方と交流をしてもらい、香春町をもっと知って好きになってもらいたいと考えています。いつでも遊びに来てください！

Our Featured Tool Vol. 2

～協力隊が推すリノベーション講座で使う工具たち～



キッチンや床の白モルタルを塗る上で欠かせなかったのがこのコテ。コテにも色々と種類があります。作業の工程によって使い分けたり、コテの材質そのものが違っていたりと左官作業もただ単にコテを使って塗るだけじゃないなど自分たちもとても勉強になりました。

香春町協力隊だより



先月はDIY講座でリノベーションした村井宅1Fにて開始予定の「香春町トライアルウィーク」の受け入れ準備に奔走しました。

「トライアルウィーク」とは都市部から短い間、田舎暮らしを体験してもらうイベントです。

今回は東京、名古屋、福岡市から3組が11月上旬から12月にかけてそれぞれ1週間から10日ほど香春町に滞在。田舎での暮らしや仕事の方法を体験してもらいます。



移住と交流の場づくり担当

ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 FROM KASHIWARA, OSAKA

また、採銅所地区の住民として採銅所小学校運動会の「5・6年生種目 借り物競争～リオに私を連れてって」に、借り物役として参加しました。

競争では生徒さんの足の速さに追いつけず、体の衰えを痛感しながらゴール。

また、大阪では競技後の万歳三唱や号令に対する返事が「やー！」ではなく、新鮮で異文化に触れたように感じた瞬間でした。



空き家活用担当

FROM UKIHA, FUKUOKA
テシマ ジュンヤ
手島順也隊員

先月は福岡市であった「第1回地域おこし協力隊起業支援セミナー」に参加。セミナーでは「地域商品のプロデュースしてヒット商品を作る」というテーマで基調講演があり、自分達の業務にどう応用させていくのか？という観点で聞きました。

ヒット商品の作り方は空き家の価値の高め方と似ているところがあると思います。空き家の良い面を高める工夫や、その家での暮らしぶりをイメージさせ

る見せ方や提案の仕方に応用ができると感じています。

また、福岡県内の協力隊が30名近く参加しており、各市町村の状況や協力隊の活躍を聞いて刺激を受けました。



▲セミナーでの基調講演の様子

先月は香春町合併60周年記念のプロモーションビデオを制作。インタビューさせてもらった方が香春町に対する各々の愛情をカメラ越しに表現してもらい、制作のやりがいがありました。

編集作業はかなり大変で、町の広報担当の中村さんと「あーでもない、こーでもない」などと言い合いながら共同でインタビュー動画の切り貼りや資料写真の選択。また、PVに合うBGMの選択や、字幕を話し手

に合わせて作成、表示することなどの作業は特に大変でしたが、より良いビデオを制作する為に力を合わせ作業しました。

制作したPVは動画共有サイトYouTubeでも見る事ができます。



▲プロモーションビデオの一場面



移住希望者への情報発信担当

ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 FROM KURE, HIROSHIMA



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



「炭坑と失業者の町」を音楽と祭りの力で変える試み ——福岡県田川郡香春町香春「オザシキオンガクフェスティバル」

文／大石始

「筑豊」という地名を聞くと、ネガティブなイメージを持つ方も少なくないことでしょう。僕も土門拳撮影による写真集「筑豊のこどもたち」(昭和35年)や映画「青春の門」シリーズで伝えられてきた「荒廃した炭坑の町」というイメージを最近まで引きずっていたものでした。

そうした印象が一転したのは2年前、「炭坑節」でも歌われている香春岳の麓に広がる香春町の盆踊りを取材させていただいて以降のこと。そこで触れたのは、新盆のお宅を回る香春独特の盆踊り文化であり、古代より朝鮮半島や中国と密接な繋がりがあったという歴史の厚みであり、そして何よりも、その土地に住む人々の優しさとエネルギッシュな魅力そのものでした。2年前の取材以降、僕にとっての田川とは「荒廃した炭坑の町」ではなく、全国的に見ても極めてディープな盆踊りの文化が息づく土地であり、大好きな人たちが住む特別な街になったのです。しかし、過疎や高い失業率で苦しむ現状は田川の紛れもない現実。そんな故郷を音楽の力で変えるべく昨年からスタートしたのが、「オザシキオンガクフェスティバル」というDIYフェスです。10月15日にそのフェスが開催され、光栄なことに僕も祭り映像上映&DJで出演させていただきました。

「オザシキオンガクフェスティバル」実行委員代表の大石勇介さんと竹野大喜さんは数年前に田川に戻ったUターン組。2人ともDJとして活動してきたこともあって、それぞれの活動のなかで培ってきたネットワークを活かし、九州を中心とする各地で活動するアーティスト/DJが出演しました。会場はもともとユニクロの店舗だった場所。体育館ほどの広さの会場に畳を敷き詰め、そこに2つのステージとさまざまなブースが立ち並ぶ光景はまさに「新しい街。」大石くん&竹野くんたちと地元の人たちが協力しあいながら、何もなかったガランとしたユニクロ跡地にひとつの祝祭空間を作り上げてしまったわけで、そこまでの苦労は僕などの想像を超えるものだったはず。また、主催の勇介くんたちと地元の人たちとの間を繋ぐ重要な役目を果たしていたのが勇介くんやスタッフのご家族だったことにもとても感銘を受けました。「若者たちのための音楽フェス」というよりも「家族ぐるみの地域の祭り。」それゆえに2回目の開催にして、早くも田川の風景にすんなり馴染んでいたように僕の目には写りました。

祭りの最後を飾ったのは、2年前に取材させていただいた香春町の盆踊り団体のみなさん。地元のおばちゃんもパンクスも子供も酔っぱらいもひとつの輪になってグルグルグルグル。踊りの輪が止まったあと、ひとりの女性がポロポロと涙をこぼしながら「いい祭りでしたね」と僕に一言、僕もその言葉で涙腺崩壊です。盆踊り後のあの感動はまだちょっと言葉にすることはできません。集う人々の熱量と手作りならではの破天荒なおもしろさ、鳴り響く音の逞しさ。胸の奥がカッと熱くなる感覚を「オザシキオンガクフェスティバル」でも感じることができました。

祭りが終われば、あの空間に集う人々も各自の「ローカル」に戻り、今頃それぞれの活動を再開させているはず。僕もすぐに締め切りに追われる生活へと戻ったわけですが、「九州にはオザシキオンガクフェスティバルを共に体験した仲間たちがいる」という感覚が僕のなかで失われることはないでしょう。自分たちの足元を自分たちなりのやり方でおもしろくしている人たちと繋がりがながら、自分なりのやり方で少しでもこの世界を色鮮やかなものにしていくこと——それこそが僕の本当にやりたいことなんだと再認識させてくれた「オザシキオンガクフェスティバル」。あの奇跡的な瞬間を共有したすべてのみなさんに感謝。また一緒に踊りましょう！

注釈:協力隊が着任した頃より関わっていた「オザシキオンガクフェスティバル」が無事終了。今回、出演された大石始さんが寄稿されたエッセイを大石さんのご了承の元、協力隊の活動新聞にも掲載させていただいています。記事のスペースの都合により原文を一部編集し掲載しております。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



香春町協力隊だより



「香春町ぐらしトライアルウィーク」が遂に始まりました！

トライアルウィークとは都市部に住まわれている方が田舎暮らしを体験するプログラム。

9月のDIY講座で改装した村井宅の1階で1週間から10日間滞在してもらいます。

先月は更井幹子さん(11/7-16)(東京都在住)、橋本可奈子さん(11/21-27)(福岡市在住)の2名を受け入れました。

期間中は農業体験や山仕事、干し



ムライ コウキ 村井勇輝隊員 採銅所4区

柿作り体験など香春町ならではの生活の営み方を体験したり、道の駅に商品を販売する方法や特技を生かした仕事の作り方を考えたり田舎に移住する上で不安な仕事面についての体験を中心にプログラムを組んでいます。

都会近郊でありながら、田舎暮らしや景色に触れ合える香春町の魅力も感じていました。

今回は、名古屋市から笹原さん一家(12/5-11)を受け入れます。

「これを体験してもらいたい！」というアイデアがあれば教えてください！

都会の方に田舎ぐらしを体験してもらっているなか、我が家に一人、家族が増えました。11月16日に田川市立病院で女の子が誕生。

妻の母が香川県から来町し、出産準備や産後ケアを手伝ってもらっています。役場や町内の方に祝ってもらい、香春町の人口も増加。

妻に感謝しつつ、出産後の手続きを進めています。これから移住

してくる子育て世代に説明できる為にも先に体験しています。

また、今月は空き家見学ツアーを行う他、12月3日発売の『田舎暮らしの本』1月号の綴じ込み「移住費用を安く抑えるコツ」特集で香春町の空き家バンクの物件が掲載されています。香春町の空き家の活用方法を色々と提案していきます。



テシマ ジュンヤ 手島順也隊員 下高野1区



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。

問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403



ハマダ ヨシタカ 濱田雄飛隊員 本町区



◀広報かわら12月号の協力隊ページのデザインを担当。活動新聞制作の経験を活かし、次のステップに挑戦しました。また、佐賀市で行われた写真講座へ参加し、撮影の視野を広げ、またこのような講座のやり方を学ぶなど情報発信担当としてのスキルアップに取り組みました。



▲「香春町ぐらしトライアルウィーク」で都会から田舎ぐらしを体験されている方を撮影・取材。また、このプログラムを通じて香春町で農のある働き方・暮らし方のイメージの一つを提案できればと思います。



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊 香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



フェイスブックで振り返る協力隊の2016年



着任式の様子

4月

- 4日 村井隊員(移住と交流の場づくり担当)協力隊に着任
- 14日 手島隊員(空き家活用担当)着任
- 30日 古宮八幡神社の神幸祭に参加(5月1日まで)



川渡り神幸祭にも参加。肩が悲鳴をあげる。

5月

- 17日 五徳地区の空き家を探索
- 25日 こけしに包まれた空き家を探索。
- 29日 「たくみまつり」に参加



色々な企画に使えるそうだと夢を膨らめます。



10月にも同じラジオ局で出演

6月

- 8日 濱田隊員(移住希望者への情報発信担当)着任
→協力隊3人が揃い、本格的に活動開始
- 30日 香春町地域おこし協力隊としてラジオ番組に出演



津屋崎ランチの皆さんからの指導や議論を通じて知識を深めた

7月

- 3日 香春神社で行われた大流しそうめんに参加
- 19日 津屋崎にて地域おこしまちづくりについての合宿を行う
- 24日 DIY講座の事前説明会を開催



夏まつりでの盆踊りの様子



町の将来像を考えたり、隊員の日々の仕事を体験

8月

- 3日 香春中学校の生徒3人が協力隊の活動を職場体験
- 8日 協力隊の活動新聞「香春町協力隊だより」創刊
→紙媒体で町民の皆さんに協力隊の活動を知ってもらう一手段として発刊中
- 15日 「ふるさと香春夏まつり」に参加



DIY講座の様子



DIY講座の様子

9月

- 17日 DIY講座を村井隊員の家の一階を使って開催
→18日・24日・25日を使って和室をオシャレなアイランドキッチンに改装
- 19日 「ハーブ王子」が来町。野草散策と試食会を開催
- 28日 協力隊が関わって初めての香春町への移住者誕生



野草散策の様子



約80人が完成したキッチンを訪問

10月

- 1日 DIY講座で改装した村井宅の内覧会を開催
- 15日 オザシキオンガクフェスティバルを開催



協力隊が着任当初から関わっていたイベントに運営スタッフとして参加。

11月

- 3日 香春町合併60周年記念式典
- 5日 「かわらの香り市」が上香春公民館で開催
- 7日 「香春町トライアルウィーク」開始
- 13日 「ふるさと香春秋まつり&農業まつり」参加
- 16日 手島隊員夫妻に第一子(女の子)誕生
→香春町の人口+1人



都会から来た参加者に短期間香春町での田舎ぐらしを体験してもらう

編集後記：協力隊の各隊員が着任して早8ヶ月。色々な人々と繋がれたりやイベントに参加できたりと忙しくも充実した日々を過ごせたと思います。来年は採銅所駅に協力隊の拠点ができ、今年以上に精力的に動いていきます。今年はどうもありがとうございました。来年もよろしくお祈いします。では、良いお年を！（濱田）



香春町協力隊だより



皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

先月は香春町ぐらしトライアルウィーク3組目、名古屋からお越しの笹原さん一家の受け入れを行っておりました。

農業体験や干し柿見学、地元の方との交流、竹照明作り、採銅所小学校見学を通し、子供達にも非常に楽しんでもらった期間となりました。

笹原家の実家が後藤寺であることもあり、子供達から帰り際「なんで僕たちは九州に住まないの?」と、親が頭を抱える質問が投げかけられておりました。



移住交流の場への情報発信担当
ムライ ユウキ
村井勇輝 採銅所4区

滞在期間中、新しい暮らしの一端が見えたようで、香春町への移住も選択肢の1つに前向きに考えてくれているそうです。この企画を継続的に行い、移住者獲得に繋げていきたいと改めて思いました。



▲竹照明作りで地元の方との集合写真に写る笹原さん一家。



空き家活用担当
下高野1区
テシマ ジュンヤ
手島順也 隊員

皆さん、今年もよろしくお願ひします。


今年は4月に「移住交流の拠点」が採銅所駅にオープンします!協力隊も活動の拠点を駅舎の方に移します。それに合わせて、町内外の人々が交流できるイベントを企画中です。

今年は実行の年です。移住希望者を香春町に呼び込んで新しい香春町を作りましょう。

空き家も絶賛募集中です。所有

する空き家・空き地の活用方法の相談も受け付けておりますので、お気軽に町役場の住宅水道課までおこしください。

また、香春町のアピールや空き家問題の解消に向けて、福岡よかところビジネスプランコンテストに「香春町の空き家活用事業」を提出しています。11月に行われた一次審査を通過し、現在は2月末にある最終審査に向けて事業計画の内容に磨きをかけています。

 町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

皆さん、明けましておめでとうございます!今年も宜しくお願ひします。

昨年は着任してから半年間、色々な場面で写真を撮影してきました。今年も皆さんの良い表情などを写し、発信していきます。

また、先月は田川高校の職場



PHOTO OF THE YEAR. 2016

香春町地域おこし協力隊 濱田雄飛が撮影した 2016年の香春町



体験を受け入れました。撮影や取材の基礎を伝え、実際に日常の仕事を体験してもらいました。記事の作成など基本的に自分で出来るようアシスト。

こういう機会を通じて、自身も教える面白さを感じたのと同時に、もっと若い世代が地元の魅力を知って伝える大切さも感じました。

移住希望者への情報発信担当

ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛 隊員 本町区

フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中!
「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。
スマートフォンで左横のQRコードからもチェック!
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



香春町ぐらしトライアルウィーク

11月7日～16日 更井幹子さん(東京都在住)
 11月21日～27日 橋本可奈子さん(福岡市在住)
 12月5日～11日 笹原さん一家(名古屋市在住)



▲更井幹子さん

11月と12月に約一週間から10日間、香春町での田舎ぐらしを体験してもらう「香春町ぐらしトライアルウィーク」の第1回全日程が終わりました。

9月にDIY講座で改装した村井隊員の家で香春町ぐらしを体験。期間中は地元の方の畑を借りて農作業を一緒に励んだり、山に登って香春町の美しい景色を眺めたりと香春町での生活を満喫してもらいました。

また、福岡移住計画さんの協力の下、田舎での仕事の作り方や生活のリズムなど、旅行では味わえない経験をすることができていたと思います。

案内役で期間中は参加者とのシェアハウスを行った村井隊員は、「怒涛のスケジュールでしたが、案内役としてのシェア生活は忙しくも楽しい日々でした。」とのこと。



▲橋本可奈子さん

参加された3組の皆さんから「また香春町に来ます!」という言葉をもらい、大成功だったと思います。参加者の皆さん、この企画や滞在物件のDIYリノベーション講座に協力をくださった皆さん、ありがとうございました。

次回は今年の4月下旬から5月上旬の予定で実施の準備を進めています。今後も「香春町地域おこし協力隊」のチェックを忘れないようお願いします。



▲笹原さん一家

編集後記：明けましておめでとうございます。協力隊はこの4月から採銅所駅舎に拠点を移す予定になっており、色々忙しくも充実した一年を送ればと思っています。また、私事ですが、初詣でお参りをした神社で引いたおみくじが大吉！前途洋々でイイ年明けを迎えれたと思います。皆さん、今年も宜しくお願いします。(濱田)



香春町協力隊だより



ハーブ王子こと野草研究家の山下智道^{やました ともみち}さんを再び迎えて「ハーブ王子×香春町～七草粥～」イベントを1月19日に開催しました。

町内外から12名の参加者を迎え、採銅所の矢山地区を散策し、採取した野草で作る料理教室を村井邸で行いました。

また、博多で開催された、ソーシャルデザイン無料公開講座「PISHATTO^{ピシャット}」のゲストとして登壇、香春町のPRを行いました。



ムライ ユウキ
村井勇輝 採銅所4区

さらに、東京で「ふくおかよかここ発見移住セミナー」に参加し、先輩移住者のトークセッションに登壇し参加者に自身のこれまでの経験を話してきました。



▲「ふくおかよかここ発見移住セミナー」で自身の経験を話す村井隊員(右2人目。)



空き家活用担当

テシマ ジュンヤ
手島順也 下高野1区

4月に開設予定の「採銅所駅 移住・交流の拠点(仮)」の準備が忙しくなってきました。駅舎の名付けや拠点運営のマニュアルの作成など決めないといけないことが山積み。資料や書類作りに費やした1月になりました。

また、移住ホームページ開設も同時進行で進めています。ホームページの核となる空き家

の案内や移住制度の紹介ページを担当しており、どう表現すれば読む人の心に届くのかを考えて文章にしています。

この拠点とホームページが出来れば今年以上に人の流れが加速し、空き家をどうすればいいかの相談も増えると思います。売る、貸す以外の使用方法なども相談者と模索していきたいです。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

村井隊員が参加した「ふくおかよかここ発見移住セミナー」(東京)向けのポスターやチラシのデザインや2月の初旬に行われる「北の九州マルシェ」(東京)に向けての香春町のプロ



▲「ふくおかよかここ発見移住セミナー」向けのチラシ



～「都市間イナカ」がちょうどいい。～
福岡県香春町
▲香春町プロモーションビデオの冒頭シーン
ーションビデオの制作を行いました。

また、香春町での「くらしのイメージ」制作を本格化。町に来る人が見やすく分かりやすいイメージを制作していきます。



ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中!
「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。
スマートフォンで左横のQRコードからもチェック!
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊
香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



Facebookもチェック





▲写真の達磨は前回の体験イベントで参加者の方が作成したものです。

「里山の小さな郷土玩具展」

2月26日に協力隊員の村井宅を使って「里山の小さな郷土玩具展」を開催します。最近インターネットやゲームで遊ぶ子供達が増加。コマや竹を使った郷土玩具に触れ、歴史や生活の様子を考えるいい機会になると思います。

また、子ども限定で事前予約制の達磨の絵付け体験も行います。講師は福岡市で民芸品店を営む「山響屋」の瀬川信太郎さん。講座では絵付けの基本や描く方法を教えてもらいます。絵付け体験の申し込みは2月24日までにまちづくり課まで。

日時：2月26日(日)

午前11時～午後2時

場所：香春町採銅所 2561-3 (協力隊 村井隊員宅)



問：香春町役場 まちづくり課 ☎ 32 - 8408



▲達磨の絵付け体験の講師の瀬川さん

くらしのイメージ かわらスタイル

情報発信担当の濱田隊員の最重要任務の一つが香春町での「くらしのイメージ」の制作です。

香春町に移住や定住を希望する人の目を引きかつオシャレなイメージの制作を目指し、アイデアを練っては撮影の繰り返し。今月は冬のくらしのイメージとして竹林の整備をオシャレ!? に撮影してみました。



編集後記：「北国に住んでたから香春町の冬の寒さなんてたいしたことないよ」って強がっていますが、寒いものはやっぱり寒いです(汗)。でも、家の近くでは梅が咲き始め、協力隊の畑では春野菜などを植え付け始めました。雪景色が広がる冬もいいけど、緑に溢れた春も早く来ないかなと思っている今日この頃です。(濱田)



香春町協力隊だより



都会では中々手に入れることができないタケノコ。2月上旬に東京で開催された「北の九州マルシェ」に2日間、香春町の特産品の販売と町のPRで行って来ました。

中でもタケノコは2日分の商品が初日で完売。都内で素材にこだわっているレストランに農家直送の食材を卸している会社の担当者からも採銅所のタケノコを使えないかとの相談を受けるなど大好評でした。

また、ふるさと回帰支援センターで福岡県への移住を考えている人と



移住した際の移住の場へ行く担当

ムライ ユウキ
村井勇輝隊員 採銅所4区

話す機会を作り、香春町のトライアルステイをPR。ただ、県内出身者でも香春町を知らない方が多く、町の知名度を上げるために町外での広報活動を積極的におこなっていかうと思います。



▲香春町での移住体験について説する村井隊員(右)。



空き家活用担当

テジマ ジュンヤ
手島順也隊員 下高野1区

空き家の活用方法を考えることから始まった「福岡よかこビジネスプランコンテスト」の挑戦。

半年間、自分の考えをプランにはして、もらったアドバイスを組み入れて、さらにプランを練る。この繰り返しは、簡単なようで大変な作業でした。しかし、プレゼンテーションの練習で皆さんの反応が良く、手応えを持って最終審

査に臨めたと思います。惜しくも入選はできませんでしたがこの経験を糧に今後活かしたいと思います。



▲ビジネスプランコンテストの最終審査で発表する手島隊員。



町内で使われていない家屋、土地をお持ちの方は、空き家バンクへのご登録をお願いします。
問：香春町役場住宅水道課 ☎ 32-8403

香春町の魅力って？暮らしのイメージやふるさと納税の商品、町のプロモーションビデオを撮影・制作している時に考えさせられます。

2月はふるさと納税商品と「暮らしのイメージ」の撮影をおこないま



▲ふるさと納税の特典商品の1枚。

した。現在、ふるさと納税商品の写真を刷新していっており、オシャレで「あつ、これ欲しい！」って思えるイメージを作成しています。物撮りなんで簡単と思うかもしれませんが、意外と思うような写真が撮れず試行錯誤を繰り返しています。

また、今年から本格化させている「暮らしのイメージ」づくり。今は撮影ができる場所やイベントを探したり、他の市町村が作ったイメージを真似したりと色々試行錯誤をしながら作って行ってます。



移住希望者の情報発信担当

ハマダ ヨシタカ
濱田雄飛隊員 本町区



フェイスブックでも香春町の情報や私たちの活動を発信中！「いいね」やどんな情報を発信してるか見てください。スマートフォンで左横のQRコードからもチェック！
<http://www.facebook.com/iheartkawara>

編集 / 香春町地域おこし協力隊 香春町役場まちづくり課 ☎ 32-8408



Facebookもチェック



『里山の小さな郷土玩具展』

春の訪れを待つ晴天の日曜日、採銅所駅から5分上がった所にある村井邸。町の中で最もホットな場所!? そんな村井邸で「里山の小さな郷土玩具展」を開催しました。

福岡市で郷土玩具店を営む「山響屋」の瀬川さんをイベントの監修に迎え、「日常に溶け込んだ玩具達」をテーマに独楽、竹細工、凧を随所に配置。見るだけでなく来場者に郷土玩具に触れ合えるよう遊ぶスペースも設けました。



▲絵付け体験の参加者たちが絵付けした達磨。総勢19人が絵付け体験を経験しました。



▲達磨の絵付け体験を楽しむ参加者たち。

県内外からこのイベントに参加するため、45人が来場しました。遠くは新幹線を使って鹿児島から来た参加者も。絵付け体験を2部構成にして、来場者の波を分けたため混雑はせず、ゆったりとしたペースで展示物を鑑賞できたと参加者は言っていました。

ここで伝えきれなかったイベントの様子や写真は協力隊のフェイスブックページでも見ることができます。こちらの方も確認してみてください。



▲展示されている竹細工の品々。
◀独楽で遊ぶ玩具展に参加の子ども。参加者は絵付けや竹馬や竹とんぼ遊びなどを体験しました。



くらしのイメージ かわらスタイル

今からが旬のタケノコ。意外と自分たち若い世代や都会の人間は調理の仕方や食べ方を知らない。筍御殿が建つぐらいの収入源になることも。考えれば、田舎の常識や伝統っていうのは守るもんじゃなくて攻めるもんじゃないんかってね。こんな若い男女みたいに。

編集後記:寒くて気分の晴れない日が続きますが、梅の花は咲き乱れ、春の足音が段々と近づいているこの時期。香春町で協力隊が始動して間も無く1年経ちます。協力隊の新たな拠点となる採銅所駅舎の改装工事はいよいよ大詰め。4月の新装開設を不安や緊張感など色々な感情が交錯しながら待つ自分たち協力隊3人です。(濱田)